

## 第五期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第 11 回実施分（平成 27 年 5 月 15 日開催） 自由記載欄

### ○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・放課後施策について
- ・児童館について
- ・委員の「桜堤地域の子ども達、子育て世代の幸せを考える。そこはぶれたくない」というお話、有難いと思いました。
- ・「児童館」の件 児童館の全市的展開、桜堤児童館のあり方の問題。2点の問題を含んでいる。児童館の機能が必要だからこそその問題だと思いました。
- ・保育：仕事によるポイント加算、良いと思います。どうしても待機児が出てしまうのであれば、収入や職業（公共性の高さ等）によって差をつけるのはある程度仕方ない事だと思います。児童館：「市 VS 利用者」という構図にしたくないのは利用者側も同じです。ただ境・桜堤地区において「民間委託」という事へのアレルギーは他地域より強いという背景（境幼稚園→境こども園移行時、約束事が守られなかった等）があることを理解して下さい。
- ・しょうがい児ものびのびと遊べる児童館の話は大切だと思いました。児童館にはまだまだできること・できてないことがあるということですね。
- ・どのテーマについても、委員の皆さんと市の職員の熱心な意見交換があり、とても興味深かったです。
- ・学童保育とあそべえの一体運営、さらにそこから発展した児童館の全市的機能拡大について興味深く聞きました。また民間学童の導入とどの様なサービス、機能、公設との住み分けが出来るのかについて情報がなく、勉強する必要があると考えました。

### ○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・熱心なご議論、敬意を表します。
- ・学童クラブについて、民間の学童クラブへの参入の話があった。サービスの良さについての発言。しかし、そのサービスは学童の本来の目的では無いのではないかと。学童と習い事を混同して考えるのは良くないのではないかと。
- ・武蔵野市として“児童館”を子ども施策として考えるのかどうか重要です
- ・策定委員の方々全員桜堤児童館の素晴らしさを理解していると松本委員がおっしゃっていましたが、児童館の機能を切り取ったもの（あそべえなど）は児童館機能とは言えないと思います。0～18才（㊦は15才）が子どもです。切れ目のない子育て支援が求められています。もう一度いいますが切り取ったものは児童館機能とは言えないです。つながっているから意味があるのです。
- ・児童館に地域のボランティア、ママさんのボランティア、大学生、高校生、中学生のかかわりを持つことで、人材が育つと考えます。切れ目のない児童館だからこそできることです。0123もあそべえも大事です。でも児童館のような年令の切れ目のない子育て支援施設がこれからの時代必要だと考えます。
- ・子どもの居場所として中高生の居場所も求められています。小さな頃から通っている児童館が中高生の居場所の1つとなるしくみ作りも必要です。子どもや子育て世代は多くの悩みを持っています。児童厚生員をはじめ、助産師、保健師、スクールソーシャルワーカー等相談環境を整える

ことも大切。問題が起きてから対処ではなく、日常的に小さな悩みのうちに気軽に相談できる場所になりえるのが児童館だと私は考えます。

- 今の児童館のまま、民間の力を取り入れていくことが良い解決ではないでしょうか。ただ西部に一館では平等ではないので、やはり武蔵野市に3館必要だと思います。3館では足りないのは分かりますが、西部、中部、東部に児童館があれば地域の拠点となりコミセン、0123、あそべえと協力しながら全市的に子育て支援を平等にできると思います。
- 運営主体を先に考えず子ども・子育て世代が何を求めているかしっかり考えてほしいです。
- UR サンヴァリエ桜堤の自治会は桜堤ケアハウスの協力を得ながら、お年寄りの孤立防止の事業を行っています。外出できる方の為に集会室で「寄り合い食堂」（週一回）を開催、外出できない方の為に「配食ボランティア」（UR 住民とケアハウス職員が協力して、登録者に食事を届ける）活動をしています。市はコミセンと介護施設を結び、三者協力して、このような「地域のお年寄りを見守る」システムを作ってはいかがでしょうか。食べる事が絡むので、孤立しがちな方も参加しようという気になりやすいのでは？
- 市内に児童館が一館しかない説明があったが桜堤の特別な事情ではないと思う。過去には何度も児童館の要望はあった。
- 認定こども園（境）の2Fの事ム所を外に出せば少し人数かせげます。
- 桜堤の一時預かりと小規模保育は桜堤児童館の建物を使わなくてもできる。むしろなぜ桜堤児童館建物にこだわる？
- 子どもが少なくなったら公立保育園が無くなる話、実際に境幼稚園はそれをたてまえにつぶされました。
- 今日の資料からは学童クラブとあそべえの運営一体化のメリットが分からない。
- 介護等の人材について 賃金の課題は自治体レベルでは難しいと思います。その中で仕事を続けるモチベーションを支えるのはいっしょに働く人同士の助け合い・支え合いではないかと思えます。職員1人ひとりのスキル・アップも大切だと思いますが、職場の支え合いを充実させる方向での支援を考えられればと思います。
- 孤立防止について 委員会でも話されたように、対象を特定して対策を考えられるとよいと思います。高令者だけでなく、障がい者、若者、子育て中の親、ひとり親等にも孤立の課題はありあそうです。その話し合いの中で「地域福祉コーディネーター」というお話がありましたが、残念ながら十分に機能しているとは思えません。地域社協と連携して、地域で暮らしている民生委員さんなどの中から少しでも多くの人を「コーディネーター」として育成し、専門家との日常的な連携の下、課題解決にあたる仕組みが必要だと思います。
- 桜堤児童館・待機児童について 委員が丁寧に議論を整理して下さったのでとても良かったと思います。児童館については、人数は少ないかもしれませんが中学生の利用もあり、その子どもたちが何を求めて利用していたのか確認した上で、そのような機能を今後どうするのかも検討していただければと思います。以上ご検討ください。よろしく申し上げます。
- 委員からお話のあった三世代同居の議論の中で子供達が肉親のゆるやかな死と直面する中で命、生きる事について学ぶべしと云う議論については重要だと思います。

（※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。）